



交通安全情報



発行所 盛岡交通安全協会
〒020-0885
盛岡市紺屋町2-9
TEL: 019-624-0644
FAX: 019-624-0674



冬の交通事故防止

12/15(月)～24(水)まで、冬の交通事故防止県民運動が実施されました。盛岡東警察署では、岩手県知事や盛岡市長が出席、防犯・交通安全関係者150人が参加して出動式を開催しました。その後、師走の街に出て市民にチラシ等を配布しながら事件や事故のない安全で安心な街づくりについて呼びかけました。

分会の活動紹介

12/15、青山分会(板谷倉治会長)では、盛岡西警察署、盛岡西地区地域交通安全活動推進員等と連携し、アークス青山店前交差点に25名が集合し出発式を開催、通行車両へのぼり旗を掲げて交通指導を実施しました。また、買い物客を中心にポケットティッシュや夜光反射材の活用について説明して配布、夜間の外出時における交通安全指導を実施いたしました。



盛岡西地区の安全と安心を守る啓発活動開始式

松園地区防犯交通安全協議会(南部宏会長)では、松園バスターミナル付近交差点等交通要所3箇所において関係者40名が参加し「交通安全運動実施中」や「スピード落として安全運転」等ののぼり旗を掲げ通行車両に「冬道の交通事故防止」や「横断歩道は歩行者優先」等と呼びかけました。



のぼり旗を抱え冬道の交通事故防止を啓発する会員

乙部地区分会(重石清明会長)では、会員や交通指導員等15名が国道396号フレッシュたもり前駐車場に集合し、国道通過車両に「交通安全運動実施中」や「ライトの早め点灯」等ののぼり旗を掲げて安全運転を呼びかけました。また、買い物客を対象として冬の交通事故防止チラシを配布し交通指導を実施致しました。終了後、飲食店を訪問し経営者に飲酒運転撲滅の協力を要請致しました。



R396号通行車両にライトの早め点灯を指導

盛岡盛南地域安全協会(宮野勇夫会長)では、原敬記念館前駐車場に関係者25名が集合し年末年始における交通事故や犯罪の発生ゼロを目的とした出発式を開催いたしました。宮野会長挨拶の後、安全協会から「県内や管内の交通事故発生状況、高齢者被害にかかる事故が多いことを説明し「止まる-見る-待つ」の基本行動の徹底と反射材の活用について指導して参りましょう」と挨拶した。その後、青パトが市内の警戒活動に出発、要所交差点においてのぼり旗による啓発活動を実施した。



交通安全ののぼり旗を掲げ街頭指導に出発

上米内分会(今松英雄会長)では、広報車を使用して管内の安全パトロールを実施、地域住民に「冬道の交通事故防止」や「ライトの早め点灯」を歩行者には、道路横断時の安全行動の徹底と夜光反射材の活用について呼びかけました。



滝沢・雫石で死亡事故ゼロ達成

滝沢市で交通死亡事故ゼロ1500日、雫石町で死亡事故ゼロ1年を達成し表彰を受けました。滝沢市は、2021年(令和3年)10月を最後に交通死亡事故の発生がなく、12/12交通死亡事故ゼロ1500日を達成、武田哲市長が県交通安全対策協議会から表彰状を受け取りました。武田市長は「関係団体の協力の下に達成できました。今後も皆さんと一丸となって記録を伸ばしていきたい」と挨拶しました。また、雫石町は、2024年(令和6年)12月以降、交通死亡事故の発生がなく、死亡事故ゼロ1年を達成しました。12/10猿子恵久町長が盛岡西警察署永沢署長から称賛状を受け取りました。猿子町長は「今後も皆さんと協力しながら2年3年と記録を伸ばしていきたい」と決意を新たにしております。

横断歩道利用時の安全指導

12/10盛岡東警察署中ノ橋交番前において、横断歩道利用者を対象とした交通指導を実施しました。活動には、盛岡東署員、盛岡市役所職員、地域交通安全推進員や盛岡市交通指導員等が参加、横断歩道利用者に「止まる」「見る」「待つ」の三原則について指導、横断する時は運転手とアイコンタクトによりドライバーと意思の疎通を図ることを指導、ドライバーには、歩行者がいらない場合を除き、停止できる速度で進行するよう指導しました。



横断者に「止まる-見る-待つ」の安全行動を指導

冬道の安全運転

(いち、にっ、さん運動)

- 1 一割のスピードダウン
- 2 二倍の車間距離をとろう
- 3 三分早めに出発しよう



チャレンジ・ゼロ出発式

12/1、おおみや交番連絡協議会と仙北町交番連絡協議会では、安全で安心な地域社会づくりを目的とした「チャレンジ・ゼロ」の出発式を開催しました。本宮地区活動センターに防犯・交通安全関係者等55名が集まり、セレモニーを開催、仙北町交番連絡協議会の佐藤修会長等3名が「犯罪被害や交通事故の無い安心安全な地域社会づくりのため活動を推進します。」と力強く宣言し、師走の街のパトロールに出発しました。



盛岡東署地域官に安全宣言をする地区会長の皆さん

買い物客に反射材配布

12/17、ユニバース中野店において買い物客を対象に反射材を配布いたしました。活動には、盛岡市職員や交通指導員、盛岡東警察署員等が参加、買い物客に反射材の効果を説明しながら約120名に反射材を配布致しました。買い物バックに反射材を取り付けた主婦は「道路横断は、安全を確認して交通事故防止に注意します」と話しておりました。



買い物客に反射材の効果について説明する担当者

不来方橋東袂交差点で自転車指導

12/8、不来方橋東袂交差点において自転車利用者に対する交通指導を実施いたしました。活動には、盛岡東警察署員、盛岡市役所職員、地域交通安全活動推進員や交通指導員の皆さんが参加し、通勤・通学の自転車利用者へ交通ルールの遵守やヘルメットの着用推進について指導しました。



自転車利用者に交通ルール遵守について指導

自転車の違反に反則金

令和8年4月1日から自転車の交通違反にも交通反則通告制度が適用されることとなります。

反則制度は16歳以上の人を対象となります。

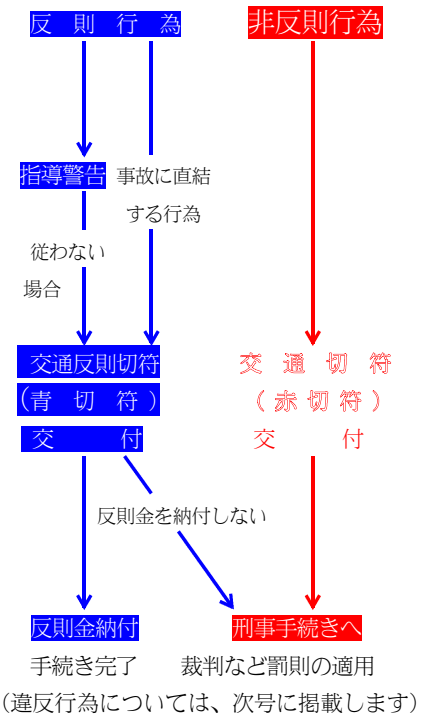
対象となる違反行為は75種類



青切符の対象となる違反行為(反則行為)は信号無視や通行区分違反(右側通行など)、指定場所一時不停止等75種類で、実際には、以下のような悪質・危険な行為が取締り対象となり、青切符が交付されます。

- ◇「携帯電話使用等(保持)」や「遮断踏切立ち入り」、「自転車制動装置不良」等、重大な事故につながるおそれが高い違反をした時
- ◇違反により、歩行者を立ち止まらせたり、他車の急ブレーキや急な進路変更といった回避措置を引き起こしたりしたとき
- ◇違反を同時に2つ以上行い、事故の危険が高まっているとき
- ◇違反であることについて指導警告されているのに、あえて違反を行ったとき

- ▶ 飲酒運転等には赤切符が交付…
- ★ 飲酒運転(酒酔い、酒気帯び)や妨害運転、スマートフォンの使用で交通の危険を生じさせた場合等20数種類の特に悪質・危険な違反行為(非反則行為)には、刑事手続きに入る交通切符(赤切符)が交付されます。



死亡事故多発注意報発令

県警では、奥州、一関、北上で交通死亡事故が連続発生したことから、今年3回目となる交通死亡事故多発注意報を発令(12/24まで)しました。

県内の交通死亡事故発生状況 12月20日現在

12/ 4(木) 雪 昼間 AM8時00分	釜石市 小川町 国道	① 自転車 16歳男性	①がガードパイプに衝突。 (①男性死亡) 県内33人目
12/15(月) 雨 夜間 AM5時9分	奥州市 前沢 県道	① 普通乗用車 52歳女性 ② 歩行者70歳	①が道路前方を歩行中の ②に衝突。 (②女性死亡) 県内34人目
12/15(月) 雨 夜間 PM5時20分	一関市 宮下町 主要地方道	① 軽四貨物車 54歳男性 ② 歩行者80歳	①が右から左に横断歩道を横断中の②と衝突。 (②女性死亡) 県内35人目
12/17(水) 雨 夜間 PM5時00分	北上市 村崎野 市道	① 普通乗用車 41歳男性 ② 歩行者26歳	①が道路前方を歩行中の ②に衝突。 (②男性死亡) 県内36人目
12/20(土) 晴 夜間 PM9時36分	大船渡市 盛町 県道	① 普通乗用車 59歳男性 ② 歩行者76歳	①が右から左に横断していた②と衝突。 (②男性死亡) 県内37人目